

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	金谷 めぐみ	職名	講師	学位	修士 (芸術学) (日本大学 2003 年)
----	--------	----	----	----	------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
キリスト教音楽 子どもの音楽表現 モーツァルトの声楽作品	讃美歌 音楽表現 声楽技術

研 究 課 題
キリスト教の礼拝における音楽の意義を考察する。 保育園における子どもの音楽活動の実践を通して、子どもの歌の歌唱法について検討する。 モーツァルトの声楽作品について楽曲分析を行い、声楽上の意義を検討する。

担 当 授 業 科 目
保育の表現技術Ⅰ (前期) (福祉学科) 保育の表現技術Ⅱ (後期) (福祉学科) 西洋の音楽と文化 (前期) (人文学部 英語学科・観光文化学科) 西洋の音楽と文化 (後期) (保健福祉学部 看護学科・福祉学科) 保育内容表現 (前記) 初年次セミナーⅠ (前期), Ⅱ (後期) (福祉学科) 保育実習指導Ⅰ (通年) (福祉学科) 保育実習指導Ⅱ、Ⅲ (通年) (福祉学科)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【保育内容の理解と方法Ⅰ】(遠隔授業)</p> <p>ピアノ奏法は、映像および音声のタイムラグがあり十分に指導を行える環境を整えることが難しく、演奏におけるニュアンスに関する指示はオンラインでは伝わりにくかった。そのため、学生の手指が画面に映るよう、機器の置き場を工夫させ、演奏表現の指示については出来るだけ曖昧な表現を避け、具体的な言語を用いて学生に伝わる説明を心がけた。歌唱指導では、画面を通して表情豊かに歌えるよう、顔の表情、音程および歌詞の発音の仕方などを指導した。</p>
<p>授業科目名【保育内容の理解と方法Ⅱ】(対面+遠隔授業)</p> <p>ピアノ奏法では、対面期間 (1-7 回) に演奏時の姿勢、手指のフォームについて指導を行い、遠隔になった時の備えをすることができた。遠隔期間 (8-14 回) では学生に自主練習を促し、ピアノの弾き歌いを行い、演奏技術の向上を図った。</p>
<p>授業科目名【西洋の音楽と文化】(遠隔授業)</p> <p>西洋音楽の歴史について、とくにキリスト教音楽の歴史について概説した。学生が西洋音楽の歴史について知識を得るだけでなく、日本への洋楽移入の経緯について解説し、西洋の音楽文化と日本の音楽文化との接触について深く考えることができるよう、授業内容を工夫した。楽曲鑑賞については、教員が指定した観賞用のサイトを授業後に視聴させ、感想を提出させて授業内容の充実を図った。</p>
<p>授業科目名【保育内容・表現】(遠隔授業)</p> <p>保育所保育指針解説を用いて、表現領域だけでなく他領域をふまえた表現に関わる事項について解説し、保育内容について総合的な理解を深めるよう工夫した。子どもの表現を引き出すためには、学生自身が自分の表現の可能性について考え、実践を通して深める必要があることから、素話等のワークを行い体験しながら学習できるよう工夫した。</p>

<p>授業科目名【保育実習指導Ⅰ】(遠隔授業)</p> <p>実習先の理解について学習を行ったうえで、実習の現場で行う保育を想定し、オンライン上で指導案の作成と手遊びや絵本の読み聞かせの発表を行った。改善すべきところや感想を全員で共有することで、実習での実践力を養うことができるよう工夫した。また、指導案作成においては、繰り返し個別の指導を行うことで、一人ひとりの指導案を書く力を養うことができるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【保育実習指導Ⅱ】(遠隔授業)</p> <p>「保育実習指導Ⅰ」に引き続き、実習先の理解について学習を充実させた。そのうえで実習の現場を想定した指導案の作成および設定保育の発表を行った。また外部講師の講義を設け、子どもの具体的な支援方法について学習し、保育現場における子どもの理解について実習生としての学びを深める工夫を行った。</p>
<p>授業科目名【初年次セミナーⅠ】(遠隔授業)</p> <p>高校と大学での学習意識の違いについて説明し、前期の授業レポート課題に対応できるよう、レポートの作成の手順について解説した。学生の文章を書くことへの苦手意識を取り除くために身近にあるテーマを扱った解説と演習による授業を行った。</p>
<p>授業科目名【初年次セミナーⅡ】(対面+遠隔授業)</p> <p>初年次セミナーⅠで学んだ内容をもとに、授業レポート課題に対応できる授業を行った。日常生活における身近な疑問や問題、課題をテーマとして、調べた事柄を整理し、問題意識をもって発表するなど、セミナーⅠとの関連性をもって学習できるよう工夫をした。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本演奏連盟		2009年12月～現在に至る
日本保育学会		2012年10月～現在に至る
日本声楽発声学会		2013年～現在に至る
日本音楽療法学会		2018年3月～現在に至る

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) モーツァルトの《声楽のためのソルフェージュ Solfeggien für Eine Singstimme K.393(385b)》とアスパーシアのアリア「迫り来る運命から Al destin, che la minaccia」(《ポントの王ミトリダーテ Mitridate, re di Ponto K.87(74a)》)における類似する旋律：声楽上の共通点とアリアの背景	単著	2021年3月	西南女学院大学紀要 Vol.25	①アスパーシアのアリア「迫り来る運命から Al destin, che la minaccia」と「ソルフェージュ1」の一節に類似する旋律を見出した。アスパーシアのアリアは、オペラ《ポントの王ミトリダーテ K.87(74a)》の初演で歌唱したベルナスコーニの要望に添って調性および旋律に修正が施され、アリアの一節は、妻コンスタンツェの歌唱訓練を想定して作曲した「ソルフェージュ1」に書かれたと推察した。 ②P.33-38

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(翻訳)				
(学会発表)				
(資格取得) リトミック指導資格 (上級4,5歳児)		2021年3月	特定非営利活動法人 リトミック研究センター	リトミック指導者養成において4,5歳児の指導法を習得し、指導者として認定された。
(研修会講師) 保育協会研修会講師		2021年3月	遠賀仲間地区保育協会	保育士を対象とした子どもの歌の歌唱法について講義をオンラインにて実施した。

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者()内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
苅田キリスト教会 国立音楽大学同調会北九州支部 地域密着型 通所介護施設「和楽庵」 ふたば保育園	奏楽者 副支部長 音楽講師 リトミック講師	2006年～現在に至る 2011年4月～現在に至る 2011年4月～現在に至る 2018年6月～現在に至る

学内における活動等(役職、委員、学生支援など)
懇親会委員 合唱サークル クールベルフィーユ顧問 秋の入学式讃美 大学および短期大学部チャペルのオンデマンド讃美(CD演奏) 新任研修会講師 クリスマス礼拝オンライン独唱(2020年12月オンデマンドCD演奏)